

会 議 録

1 会議名

第6回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○ 報告事項（公開）

- (1) 谷集落で導入を予定している地域おこし協力隊の進捗状況について
- (2) 浦川原区コミュニティバスの利用実績等について
- (3) 路線バスなどの運賃改定について

○ 協議事項（公開）

- (1) 「地域内の視察・現地めぐり」の実施に伴うグループワーク

○ その他

- (1) 地域協議会委員報告の実施について

○ 次回の開催日について

3 開催日時

令和6年12月19日（木）午後6時30分から8時10分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 4階 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：市村(一)委員、市村(千)委員（副会長）、小野委員（副会長）、金子委員、
北澤（正）委員（会長）、五井野委員、杉田委員、竹内委員、西山委員、松野委員、
- ・ 事務局：浦川原区総合事務所 坂井所長、岩野次長、保倉次長、大島建設グループ長、唐
澤市民生活・福祉グループ長、西山教育・文化グループ長、村松地域振興班長、
原田主事

8 発言の内容

【岩野次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 出席者は10人で欠席委員は、北澤（誠）委員と水澤委員
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告

【北澤会長】

上越市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則第5条第2項により、会議録の内容について、地域協議会が指定した委員の確認をいただくことになっている。

本日の会議録の確認について、私、北澤が確認する。

「2 報告事項」に移る。報告事項(1)から(3)について、事務局より説明をお願いします。

【岩野次長】

資料No1～資料No3に沿って説明

【北澤会長】

今の報告の中で質問はあるか。

【西山委員】

路線バスの運賃の改定についてだが、運輸局への運賃設定変更に関する申請の実施については民間のバス会社のことを言っているのか。また、予約型コミュニティバスの運賃の値上げだが、路線バスの値上げ幅に比べると大きいように感じるがいかがか。

【岩野次長】

資料に書かれている運輸局への申請の実施については、市営バスのことである。ただ交通事業者も申請しなければならないので基本的には両方のことが書かれている。値上げ幅については、物価高騰に伴い、運行費用が増加するものと考えている。協議の中で250円という話もあったが、交通事業者から分かりやすい金額に設定してほしいという要望があり、該当区の公共交通懇話会でも300円への値上げは致し方ないという意見をいただいている。

【西山委員】

確認だが、予約型コミュニティバスも交通事業者に委託していることから、その委託業者が運輸局への申請をしなければならないということか。

【岩野次長】

そうである。事業者の事業となるので事業者が申請をし、市営バスについては、市が申請するということである。

【市村(一)委員】

地域おこし協力隊の2泊3日の現地見学は、具体的にどのようなことをしているのか教えてほしい。

【村松班長】

1日目は、午前中にうらがわら駅に到着する電車に来ていただく。内容については、宿泊体験交流施設月影の郷の情報発信やイベントの企画がミッションに含まれているため、支配人から施設の概要や取組の説明を受け、施設の見学を行う。また、雅楽の伝承もミッションの1つであるため、月影雅楽保存会の皆さんに立ち会っていただき、雅楽の説明や楽器の演奏、保存会が出演したDVDを観てイメージを持っていただく。さらに、1番のミッションである農業については、谷集落に入り、ほ場を見学し、作業内容の説明を受けていただく。また、農作業体験も行ったり、浦川原区や旧上越市内のインフラ等を見学を行っている。

【杉田委員】

11月に現地見学された女性の応募期限は決めているのか。また、JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024の中で面談した人は、いつまでにオンライン面談をするのか。

【岩野次長】

11月に見学された女性は、12月中に方向性を決めてもらうようお願いをしている。12月に現地見学をされた男性は、応募については未定である。協力隊の着任については、令和6年度中に行いたいというのが谷集落と浦川原区総合事務所の総意である。今後スケジュールやタイミングを見ながら進めていきたいと思っている。

JOIN移住・交流&地域おこしフェアに参加していただいた人については、申し込みや連絡をいただくことは相手方の判断となる。検討していただくためのお礼のメールは送ったが返答待ちであるため、オンライン面談の日程は未定である。

【西山委員】

予約型コミュニティバスの件だが、真光寺入口の乗車率が多い理由はなにか。

【岩野次長】

通院で定期的に利用している人がいる。

【北澤会長】

谷集落での地域おこし協力隊の具体的なミッションについて教えてほしい。

【岩野次長】

1つ目が農業の支援による地域活性化である。2つ目が月影雅楽保存会への参加による伝統文化の継承で、3つ目が宿泊体験交流施設月影の郷での田舎体験の手伝いや情報発信である。

【北澤会長】

ほかに質問はあるか。

(意見なし)

次に、「3 協議事項」に入る。(1)「地域内の視察・現地めぐり」の実施に伴うグループワークについて、事務局に進行をお願いする。

【岩野次長】

これから「地域内の視察・現地めぐり」の実施に伴うグループワークを実施する。浦川原区内の視察・現地めぐりを実施し、その中で感じたことについて振り返りをさせていただく。

8月9日金曜日の浦川原区地域協議会委員研修の中で話し合いのポイントを示させていたが、「自分以外の人の考えも聞く」、「発言は簡潔に」、「建設的な話し合い」、「話しやすい雰囲気を大切に」、「個人の意見は平等に扱う」ということを頭に入れながらの実施をお願いする。

【原田主事】

これからグループワークを始めるが、所長、保倉次長、各グループ長は一旦離席する。グループワーク終了後に復席するのでよろしくお願いします。

まず、進行役、発表者、記録者を決めていただき、その後今回現地視察を行った「山本ぶどう園」、「旧小学校」、「月影の郷」、「空き家の視察」の中からテーマを1つ選び、興味ある部分についてグループワークを実施し、終了後発表していただく。また、記録者が記録したものは事務局に提出していただき、まとめたものを1月の地域協議会で共有する。それではグループワークをお願いする。

ーグループワーク 30分ー

【原田主事】

それぞれの班で話したテーマと内容について発表をお願いする。

【竹内委員】

A班では空き家をテーマにグループワークを行った。はじめに、今回は視察していないが、人目に付く顕聖寺の空き家については、もう少し片付けが必要だと考えている。浦川原区にはまだ見えない廃墟がたくさんあるため、住める状態のうちに行政として何か手立てが取れないかと考えている。また、空き家の処分が進まない原因についても知りたいと感じた。

【原田主事】

次にB班より発表をお願いします。

【西山委員】

山本ぶどう園を活性化するための方策についてグループワークを行った。最大の問題点は後継者不足及び人手不足であるが、インフラ整備も課題であると感じた。具体的には水道が未整備のため、飲み水やトイレの問題がある。飲み水に関しては、自動販売機を設置することで解決できると考える。また、新たに移住して来る人々もいるが、うまく定着していないという話もあった。これはおそらく受入れ体制にも問題があると考えられる。ぶどう栽培においては、サポート体制が不足していることが原因の1つであると考ええる。

山本ぶどう園の強みとしては、長い歴史があり、上越市民の多くに知られている点が挙げられる。また、市街地から近く、道路が整備されていて、晴れた日には素晴らしい展望を楽しむことができる。旧末広小学校の視察の中で感じたことだが、山本ぶどう園の近くに位置するこの空き校舎を活用し、ぶどうを使った新たな事業が展開できる可能性もあるという意見がでた。どのテーマでも共通して言えることだが、地元住民やそこに住む人々の共通理解と協力が最も重要であると考ええる。

【原田主事】

次にC班より発表をお願いします。

【松野委員】

C班も山本ぶどう園についてグループワークを行った。まず、園に活気がないように感じられた。この原因は、後継者不足や人手不足であると思われる。また、意見交換の中で、各農家間のつながりが希薄であるようにも感じられた。話を聞く中で、ぶどう作りに対するプライドがあり良いところも多いが、山本ぶどう園を存続させるためには法人化が必要とされていた。しかし、作り方の統一が難しいことや、棚を知らない人に引き継ぐことに難色を示していることから、働いている人々が山本ぶどう園を観光ぶどう園として維持する意欲が乏しいように感じられた。

そこで、山本ぶどう園の従業員の意識を変える取組が必要であると考ええる。また、山本地内にも地域おこし協力隊の導入を検討してはどうかという意見も出た。さらに、浦川原区コミュニティバスが山本ぶどう園まで運行しており、車を持たない人でも気軽に来園できることをアピールすることも効果的だと思われる。

【原田主事】

今ほど各班に発表してもらった内容と記録者がまとめたものについては、事務局で取りまと

め次回の地域協議会で報告させていただくのでよろしくお願いします。

【北澤会長】

次に「4 その他」「(1)地域協議会委員報告」について私から説明する。委員の皆さんの中には、浦川原区のさまざまなコミュニティや団体、組織に属されている人がいると思う。その中で、地域協議会の委員の皆さんに共通認識として持ってもらいたいことや、今後の浦川原区の問題として考えていきたいことがあれば、この委員報告の中で話していただきたいと考えている。報告の際には、質問を受けるが、その場での協議は行わないこととする。もし、各委員の皆さんが、協議が必要と判断する場合は、次回の地域協議会に持ち越すことを考えている。「協議事項」ではないが、「その他」の中で委員報告を設けたいと思っているが、委員の皆さんの意見を伺いたい。

【五井野委員】

取り入れていただきたいと思う。中学校が閉校するまでは色々な情報が委員の中でも共有できていたが、今の状況は分からないという話が委員の中でもあった。私は東頸中学校の学校運営協議会に所属しているので、中の事情については住民の皆さんよりも理解していると思う。そういったことを地域協議会委員の皆さんにもお話ししたいと思っているし、それぞれ皆さんの立場で地域の色々な役目をやっていると思うのでその話も聞いてみたいと思う。

【市村(一)委員】

確認だが、フリートークとは別物ということで考えてよいか。

【北澤会長】

地域協議会の「その他」の中に設けたいと考えている。フリートークとは別物という位置付で考えていただきたい。

【市村(一)委員】

委員報告をしたい場合は、事前に文書など提出したほうがよいのか。

【北澤会長】

委員報告をする際は、分かった段階で事務局へ事前に連絡していただきたい。また、配布したい資料がある場合は、事前に事務局に届けてもらえれば対応する。そのような形で委員報告を進めたいと思っているがいかがか。

【西山委員】

資料がない場合は、事務局へ報告しなくてもよいか。

【北澤会長】

次回の協議会までに分かっているのであれば、まず、事務局に報告していただきたい。難し

く考えずに、委員の中で共通認識として持っておきたい内容があれば、委員報告として提出してほしい。もちろん報告がない場合もある。また、時間的に間に合わず事務局に報告できなかった場合は、その場で手を挙げて発言していただきたい。

では、「地域協議会委員報告の実施について」次回の地域協議会から取り入れてよろしいか。

(会場から「異議なし」の声)

その他、事務局から何かあるか。

【岩野次長】

地域協議会終了後、令和7年度地域独自の予算提案事業について情報提供させていただくのでよろしくお願いします。

【北澤会長】

委員の皆さんから何かあるか。

【小野副会長】

前期の自主的審議事項で駅舎の利活用について話し合った。NPOが実施主体となり地域独自の予算事業補助金を活用し、12月22日日曜日にうらがわら駅舎でイベントを実施するので、もし時間が合えば皆さんにも見ていただきたいと思います。

【杉田委員】

駅前以外に駐車場は用意してあるのか。

【小野委員】

駐車場は駅の駐車場とJA浦川原物産館前の駐車場を用意している。ただ電車利用促進のためのイベントのため、電車を使っていた人は無料でイベントに参加できる。ほくほく線の活性化につなげるためにできるだけ電車を利用して来ていただきたい。

【北澤会長】

次に、「5 1月、2月の開催日について」である。次回の第7回地域協議会は事前の案内のとおり、地域協議会後に懇親会を予定している。会場の手配などの関係で、正副会長会議にて日時を決めさせていただいた。1月31日金曜日の午後6時からとなるのでよろしくお願いします。普段より30分早い開始となる。道路状況が悪いことも考えられるため、遅れが生じる場合は、事務局に一報いただけるとありがたい。

次に2月開催の第8回地域協議会の日程を決めさせていただく。案として2月25日火曜日の午後6時30分からを提案する。この日程でいかがか。

(会場から「異議なし」の声)

それでは、第8回地域協議会は2月25日火曜日の午後6時30分からとする。

以上で第6回浦川原区地域協議会を閉会する。

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別途の会議資料もあわせてご覧ください。